

## 「令和2年度帯広市水道・下水道事業会計予算(案)」(資料4) 補足説明

※令和2年4月からの都市部と農村部の上下水道一元化に伴い、令和2年度から簡易水道事業と農村下水道事業が一般・特別会計から水道・下水道事業会計へ移行します。

### **水道事業会計**

#### 資料1ページ 水道事業 収益的収支

#### 水道事業収益 <ページ左側>

##### 【主な増減理由】

○給水収益(78,464千円の増)

家事用・業務用の令和元年度使用水量見込の増による増

⇒総額 4,525,991千円 (103,417千円の増)

#### 水道事業費用<ページ右側>

##### 【主な増減理由】

○原水及び浄水費(258,478千円の減)

十勝中部広域水道企業団の元利償還金の減などによる受水費の減

○消費税及び地方消費税(109,079 千円の増)

建設改良費(配水管整備事業費、施設整備費)の減により仮払消費税が減ることによる増

○減価償却費(77,196 千円の増)

稲田浄水場施設の工事完了に伴う有形固定資産の減価償却費の増

○職員給与費(68,789 千円の増)

会計年度任用職員制度の導入による給料の増

⇒総額 3,806,389 千円 (30,760 千円の減)

**※水道事業収支差(税抜) 597,883 千円 (純利益)**

#### **資料2ページ 簡易水道事業 収益的収支**

※令和2年4月からの水道事業との一元化に伴い、新たに計上

**簡易水道事業収益 <ページ左側> 総額 302,184 千円**

**簡易水道事業費用 <ページ右側> 総額 355,083 千円**

**※簡易水道事業収支差(税抜) △58,814 千円 (純損失)**

**※水道事業会計(水道事業・簡易水道事業 合計)収支差(税抜)**

**539,069 千円 (純利益)**

## 資料3ページ 水道事業 資本的収支

### 水道事業資本的収入<ページ左側>

#### 【主な増減理由】

○企業債(819,200 千円の減)

建設改良費の減による企業債発行額の減

○補償金(154,430 千円の減)

中島橋架替に伴う添架水道管布設工事の完了による減

⇒総額 614,291 千円 (981,633 千円の減)

### 水道事業資本的支出<ページ右側>

#### 【主な増減理由】

○配水管整備事業費(579,069 千円の減)

老朽化した配水管等を更新する管路近代化事業費の減

○施設整備費(558,779 千円の減)

稲田浄水場設備更新工事費の減

○量水器整備事業費(68,260 千円の増)

量水器更新個数の増

⇒総額 2,653,614 千円 (1,026,032 千円の減)

**※水道事業資本的収支不足額 2,039,323 千円は、損益勘定留保資金等で補てん**

**令和2年度末の水道事業内部留保資金残高 1,897,908 千円**

**資料4ページ 簡易水道事業 資本的収支**

※令和2年4月からの水道事業との一元化に伴い、新たに計上

**簡易水道事業資本的収入<ページ左側>** 総額 87,597 千円

**簡易水道事業資本的支出<ページ右側>** 総額 116,061 千円

※**簡易水道事業資本的収支不足額 28,464 千円**は、損益勘定留保資金等で補てん

**令和2年度末の簡易水道事業内部留保資金残高 16,109 千円**

**※令和2年度末の水道事業会計(水道事業・簡易水道事業 合計)**

**内部留保資金残高 1,914,017 千円**

(将来の更新工事等の費用の財源として使用予定)

## 下水道事業会計

### 資料5ページ 下水道事業 収益的収支

#### 下水道事業収益 <ページ左側>

##### 【主な増減理由】

○下水道使用料(56,614 千円の増)

消費税率 10%適用に伴う消費税相当額の増による増

⇒総額 5,087,963 千円 (53,014 千円の増)

#### 下水道事業費用<ページ右側>

##### 【主な増減理由】

○支払利息及び企業債取扱諸費(54,003 千円の減)

企業債残高の減による支払利息の減

○消費税及び地方消費税(39,529 千円の増)

下水道使用料の増により仮受消費税が増えることによる増

⇒総額 4,433,294 千円 (21,104 千円の減)

※下水道事業収支差(税抜) 616,429 千円 (純利益)

## 資料6ページ 農村下水道事業 収益的収支

※令和2年4月からの下水道事業との一元化に伴い、新たに計上

農村下水道事業収益 <ページ左側> 総額 136,027 千円

農村下水道事業費用 <ページ右側> 総額 132,263 千円

※農村下水道事業収支差(税抜) 6,062 千円 (純利益)

※下水道事業会計(下水道事業・農村下水道事業 合計)収支差(税抜)

622,491 千円 (純利益)

## 資料7ページ 下水道事業 資本的収支

※資料中の( )は前年度からの繰越分を含む数値であり、

ここでは、繰越分を含まない予算額で説明します。

### 下水道事業資本的収入<ページ左側>

#### **【主な増減理由】**

○企業債(123,400 千円の減)

建設改良費の減による企業債発行額の減

○国庫補助金(39,800 千円の増)

補助対象となる浸水対策下水道事業費の増による増

⇒総額 964,664 千円 (83,745 千円の減)

## 下水道事業資本的支出<ページ右側>

### 【主な増減理由】

○管渠建設費(128,756千円の減)

管渠長寿命化更新事業費及び污水管整備事業費の減

○企業債償還金(44,065千円の減)

企業債残高の減による償還金の減

○施設設備改良費(21,619千円の増)

帯広川下水終末処理場内配管工事費の皆増

⇒総額 2,868,181千円 (151,610千円の減)

※下水道事業資本的収支不足額 1,903,517千円は、損益勘定留保資金等で補てん

令和2年度末の下水道事業内部留保資金残高 961,365千円

## 資料8ページ 農村下水道事業 資本的収支

※令和2年4月からの下水道事業との一元化に伴い、新たに計上

農村下水道事業資本的収入<ページ左側> 総額 56,624千円

農村下水道事業資本的支出<ページ右側> 総額 105,115千円

※農村下水道事業資本的収支不足額 48,491千円は、損益勘定留保資金等で補てん

令和2年度末の農村下水道事業内部留保資金残高 0円

**※令和2年度末の下水道事業会計(下水道事業・農村下水道事業 合計)**

**内部留保資金残高 961,365 千円**

(将来の更新工事等の費用の財源として使用予定)

なお、**資料4-1**として、水道事業会計と下水道事業会計の令和2年度の業務予定量と予定キャッシュ・フロー計算書、令和2年度と元年度の予定貸借対照表を載せています。

また、令和2年4月1日から簡易水道事業と農村下水道事業が水道・下水道事業会計へ移行してくることから、参考として令和2年度の予定開始貸借対照表も載せています。

(令和2年度の予定キャッシュ・フロー計算書、令和2年度と元年度の予定貸借対照表、令和2年度の予定開始貸借対照表は議案書の一部として議会に提出)

**<参考>**

キャッシュ・フロー計算書 … 一事業年度における現金の流れで

企業の実態を表す。

貸借対照表 … 企業が事業資金をどうやって集めて(表の右側)、どのような形で保有をしているか(表の左側)を表す。